

綾部市上下水道審議会議事要旨

- 1 日 時 令和6年11月21日(木) 午後1時30分から
- 2 場 所 上水道課会議室
- 3 出席者 委 員 上野 司、朝倉 正道、高橋 秀文、土井 渡、由良 茂文、
泉 朝子、吉崎 ゆかり、大石 浩明
事 務 局 上下水道部長 小林 浩子、上下水道部次長 十倉 和寿、
下水道課長補佐 小嶋 剛史 ほか8名

4 審 議 会

(1) 開 会

(2) 市長あいさつ

他の公務のため副市長あいさつ

(3) 会長あいさつ

(4) 議 題

十倉次長：

資料1「令和5年度上水道事業会計決算について」説明

(質疑応答) なし

小嶋課長補佐：

資料2「令和5年度下水道事業会計決算について」説明

(質疑応答) なし

野間課長補佐：

その他 資料3「地域再生計画事後評価について」説明

(令和5年度末で終了した計画の自己評価について審議会で評価を受けるもの)

(質疑応答) なし

十倉次長：

その他 「第2次水道事業ビジョンについて」説明
(策定のスケジュール、進捗状況)

野間課長補佐：

その他 「雨水出水浸水想定区域図について」説明

(質疑応答)

・上野会長：

ホームページで公表するだけでなく、市民に分かりやすく説明をする機会を設ける等、机上の理論にならないように広報をお願いします。

・土井委員：

想定雨量は。

・野間課長補佐：

1時間降雨量130ミリ、24時間雨量263ミリを想定。定められた想定最大雨量による。

・上野会長：

赤色のところは50センチから3メートルということで、幅が広い。

・野間課長補佐：

国の公表の基準によるもの。綾部市では2メートル以上の浸水はないシミュレーションとなっている。黄色のところも50センチとなっているが、全てが50センチという訳ではなく、実際には1センチのところもあれば2センチのところもある。

・土井委員：

雨水ポンプ場の排水量は。

・野間課長補佐：

1分間に60立方メートル。

・高橋委員：

水道事業ビジョンの関係で、決算を見ると今後ますます厳しい経営状況となると思われる。広域連携についてはどこまで検討されているのか。

・十倉次長：

水道事業ビジョンの上位計画として京都府の京都水道グランドデザインが策定されており、その中で、北部圏域の中での広域連携が述べられている。最終的には、隣の市と水

道管を繋いでということも考えられるが、なかなか実現は難しい。

そこで、水道の窓口事務の広域連携や、水道資材や薬品の共同購入により効率を図って
いこうという考え方もあり、そちらの方を北部圏域の中で協議しているところ。現段階で
は、具体的なことは申し上げることができない。

・高橋委員：

上水道事業会計決算について、給水量の減の割に給水戸数はそこまで減っていない。こ
れは大口の利用者のところが減っているということか。

・十倉次長：

会社などの大口需要家の減の影響が大きい。

(5) 閉会あいさつ 小林上下水道部長
終了：午後2時30分